

2020年9月 (No.sh0330)

キューピー スペシャル
サントリーホール ニューイヤー・コンサート 2021
ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団



昨年のニューイヤーコンサート公演より



昨年のニューイヤーファミリークラシック公演より

新たな年の到来を本場のウィнна・ワルツやバレエで祝うニューイヤー・コンサート
大人も子どもも楽しめるファミリー向けコンサートもラインナップ

サントリーホールは、「サントリーホール ニューイヤー・コンサート 2021」を2021年1月1日(金・祝)、2日(土)、3日(日)14:00より、また1時間半のファミリー向けプログラム、「サントリーホール ニューイヤー・ファミリークラシック 2021」を1月5日(火)15:00より開催します。

優雅で楽しい本場ウィーンのニューイヤーの雰囲気をお楽しみいただこうと、1988年より開催しているサントリーホールのニューイヤー・コンサート。オペレッタの殿堂として名高いフォルクスオーパー(国民劇場)の専属オーケストラ、ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団による本家本元のオペレッタやウィнна・ワルツの演奏と、舞台をより華やかに彩るバレエで、30年を超える歴史と伝統を誇るサントリーホールの定番コンサートです。

出演は、ヨーロッパを中心に世界各地の主要な劇場や音楽祭で活躍するウィーンではお馴染みのディーバ、エリーザベト・フレヒルと、今回で日本での年末年始のコンサートに7度目の出演となるテノールのメルツァード・モンタゼーリの、いずれもフォルクスオーパー専属歌手の黄金コンビです。シェーンブルン宮殿オーケストラの首席指揮者を務めるなど、ウィーンを中心に国際的に活躍するガイド・マンクージが指揮します。また音楽と同時にバレエ・アンサンブル SVO ウィーンによる華麗なウィнна・ダンスを堪能していただけます。

毎年恒例の、『美しく青きドナウ』などのワルツやオペレッタを凝縮したニューイヤー・コンサートに加え、1月5日(火)15:00開演のニューイヤー・ファミリークラシックは、オペレッタの名門、ウィーン・フォルクスオーパーのオーケストラが東京の子供達に贈る特別プログラムです。こどものための物語『ピーターと狼』で、オーケストラの楽器を楽しく紹介します。ご家族そろって楽しいポルカやワルツで、希望に輝く新年をお祝いください。

[チケットのお申し込み・お問合せ]

サントリーホールチケットセンター TEL 0570-55-0017 (10:00~16:00、休館日を除く)

※窓口は公演開催日のみ開演時間まで営業

サントリーホール・メンバーズ・クラブWEB <http://suntoryhall.pia.jp/>

— 記 —

キューピー スペシャル

サントリーホール ニューイヤー・コンサート 2021

ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団

Kewpie Special

Suntory Hall New Year Concert 2021

Symphonie-Orchester der Volksoper Wien

【日時】

2021年1月1日（金・祝）14:00 開演（13:00 開場）

1月2日（土） 14:00 開演（13:00 開場）

1月3日（日） 14:00 開演（13:00 開場）

各日とも

13:20～13:40 ブルーローズ（小ホール）にてプレコンサートあり

【会場】 サントリーホール 大ホール

※開場中と休憩中、ブルーローズは特設ドリンクコーナーとしてご利用いただけます。

【出演】

ソプラノ：エリーザベト・フレヒル Elisabeth Flechl, Soprano

テノール：メルツァード・モンタゼーリ Mehrzad Montazeri, Tenor

指揮：グイド・マンクージ Guido Mancusi, Conductor

ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団 Symphonie-Orchester der Volksoper Wien

バレエ・アンサンブル SVO ウィーン Ballett Ensemble SVO Wien

【曲目】

ヨハン・シュトラウスII世：オペレッタ『こうもり』序曲

Johann Strauss Jr.: Overture to *Die Fledermaus*

レハール：オペレッタ『ジプシーの恋』より「ツィンバロンの響きを聞けば」

Franz Lehár: “Hör’ ich Cymbalklänge” from *Zigeunerliebe*

ヨハン・シュトラウスII世：『皇帝円舞曲』作品 437

Johann Strauss Jr.: *Kaiser-Walzer*, Op. 437

レハール：『ジュディッタ』より「友よ、人生は生きる価値がある」

Franz Lehár: “Freunde, das Leben ist lebenswert” from *Giuditta*

ヨハン・シュトラウスII世：喜歌劇『騎士パーズマーン』作品 441 より チャールダーシュ

Johann Strauss Jr.: *Csárdás* from *Ritter Pásmán*, Op. 441

ドヴォルジャーク：『森の静けさ』作品 68-5

Antonín Dvořák: *Klid*, Op. 68, No. 5

レハール：オペレッタ『ロシアの皇太子』より「私にはあなたしかいない」

Franz Lehár: “Hab’ nur dich allein” from *Der Zarewitsch*

マンクージ：ワルツ『古式ゆかしく、エレガントに』

Guido Mancusi: *Stil & Eleganz* Waltz

スッペ：オペレッタ『軽騎兵』序曲

Franz von Suppé: Overture to *Leichte Kavallerie*

レハール：オペレッタ『ほほえみの国』より「私の心のすべては君のもの」

Franz Lehár: “Dein ist mein ganzes Herz” from *Das Land des Lächelns*

ヨーゼフ・シュトラウス：ポルカ・フランセーズ『小さな水車』作品 57

Josef Strauss: *Moulinet Polka française*, Op. 57

レハール：オペレッタ『ほほえみの国』より「ああ、恋をしたい」

Franz Lehár: “Gern, gern wär’ ich verliebt” from *Das Land des Lächelns*

ブラームス：ハンガリー舞曲第 5 番 ト短調

Johannes Brahms: *Hungarian Dance No. 5 in G Minor*

レハール：オペレッタ『ほほえみの国』より「私たちの心にだれが恋を沈めたのか」

Franz Lehár: “Wer hat die Liebe uns ins Herz gesenkt” from *Das Land des Lächelns*

ヨハン・シュトラウス二世：ワルツ『美しく青きドナウ』作品 314

Johann Strauss Jr.: *An der schönen, blauen Donau Waltz*, Op. 314

【主催】 サントリーホール

【協賛】 キューピー株式会社

【後援】 オーストリア大使館、オーストリア文化フォーラム

【料金】 各日共 S12,000 円 A10,000 円 B8,000 円 C6,000 円（消費税込）

【チケット発売】

サントリーホール・メンバーズ・クラブ先行発売 9月13日（日）10時～9月26日（土）

一般発売 9月27日（日）10時～

サントリーホール・メンバーズ・クラブ WEB <http://suntoryhall.pia.jp/>（24時間受付）

※メンバーズ・クラブは要事前登録（会費無料・WEB会員は即日入会可）

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017（10:00～16:00、休館日を除く）

サントリーホール窓口（10:00～16:00、公演開催日のみ開演時刻まで営業、休館日を除く）

※先行期間中は窓口での販売はございません

チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード: 187-060]

イープラス eplus.jp

ローソンチケット 0570-000-407 [Lコード: 33723]

【他都市公演】

2021年1月6日（水）15:00 開演 大阪フェスティバルホール

2021年1月9日（土）13:30 開演 愛知県芸術文化センター

キューピー スペシャル
サントリーホール ニューイヤー・ファミリークラシック 2021
ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団
Kewpie Special
Suntory Hall New Year Family Classic 2021
Symphonie-Orchester der Volksoper Wien

【日時】 1月5日（火）15:00 開演（14:00 開場）

【会場】 サントリーホール 大ホール

【出演】

ソプラノ：エリーザベト・フレヒル Elisabeth Flechl, Soprano
テノール：メルツァード・モンタゼーリ Mehrzad Montazeri, Tenor
指揮：グイド・マンクージ Guido Mancusi, Conductor
ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団 Symphonie-Orchester der Volksoper Wien
バレエ・アンサンブル SVO ウィーン Ballett Ensemble SVO Wien

【曲目】

プロコフィエフ：こどものための物語『ピーターと狼』作品 67
Serge Prokofiev: *Peter and the Wolf*, Op. 67
ツィラー：ワルツ『夜更かし大好き』作品 466
Carl Michael Ziehrer: *Nachtschwärmer* Waltz, Op. 466
エドゥアルト・シュトラウス：ポルカ・シュネル『喜んで！』作品 228
Eduard Strauss: *Mit Vergnügen!* Polka schnell, Op. 228
ヨハン・シュトラウス II 世：オペレッタ『こうもり』より チャールダーシュ「故郷の調べは」
Johann Strauss Jr.: Csárdás “Klänge der Heimat” from *Die Fledermaus*
ヨハン・シュトラウス II 世：オペレッタ『ヴェネツィアの一夜』より「ああ なんと素晴らしい眺めだ
ろう」（入り江のワルツ）
Johann Strauss Jr.: “Ach, wie so herrlich zu schauen” (Lagunen-Walzer) from *Eine Nacht in Venedig*
ヨーゼフ・シュトラウス：ポルカ・シュネル『おしゃべりな可愛い口』作品 245
Josef Strauss: *Plappermäulchen* Polka schnell, Op. 245
ヘルメスベルガー II 世：『悪魔の踊り』
Joseph Hellmesberger Jr.: *Teufelstanz*
ヨハン・シュトラウス II 世：オペレッタ『こうもり』より 時計の二重唱「あの上品なもの腰」
Johann Strauss Jr.: Clock Duet “Dieser Anstand, so manierlich” from *Die Fledermaus*
ヨハン・シュトラウス II 世：ワルツ『美しく青きドナウ』作品 314
Johann Strauss Jr.: An der schönen, blauen Donau Waltz, Op. 314

【主催】 サントリーホール

【協賛】 キューピー株式会社

【後援】 オーストリア大使館、オーストリア文化フォーラム

【料金】

おとな券（中学生以上） S 席 4,500 A 席 3,500

こども券（小学1～6年生） S 席 4,000 A 席 3,000

※2021年4月より就学予定の場合は、『こども券』で入場可能です。

【チケット発売】

サントリーホール・メンバーズ・クラブ先行発売 9月20日（日）10時～9月26日（土）

一般発売 9月27日（日）10時～

サントリーホール・メンバーズ・クラブ WEB <http://suntoryhall.pia.jp/>（24時間受付）

※メンバーズ・クラブは要事前登録（会費無料・WEB会員は即日入会可）

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017（10:00～16:00、休館日を除く）

サントリーホール窓口（10:00～16:00、公演開催日のみ開演時刻まで営業、休館日を除く）

※先行期間中は窓口での販売はございません。

チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード: 187-061]

イープラス eplus.jp

ローソンチケット 0570-000-407 [Lコード: 33725]

※新型コロナウイルス感染拡大防止の対応上、出演者・曲目等に変更がある場合がございますので、あらかじめご了承ください。最新情報は、ホームページでお知らせします。

※就学前のお子様の同伴・入場はご遠慮ください。ただし、ニューイヤー・ファミリークラシック公演については、2021年4月より就学予定の場合は、『こども券』で入場可能です。

【プロフィール】

■ソプラノ：エリーザベト・フレヒル Elisabeth Flechl, Soprano

オーストリア出身。ウィーン国立音楽大学で学ぶ。シュッツからオルフまで幅広いレパートリーを持ち、『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・エルヴィーラ、『フィガロの結婚』伯爵夫人、『マリツァ伯爵家令嬢』タイトルロールほか多数の役柄をこなす。ウィーン楽友協会、ゼンパーオーパーなど世界各地の主要な劇場や音楽祭で活躍。日本では、2012年のフォルクスオーパー来日公演のほか、18年、新国立劇場での『こうもり』にロザリンデ役で登場。16年よりウィーン国立音楽大学で教鞭をとるほか、ソロトゥルン（スイス）の音楽祭では、ソリストとして出演するのみならず、アーティスティック・アドヴァイザーとして、レクチャーやコンサートを企画している。フォルクスオーパーでは専属歌手として長年活躍中。『ボッカチオ』ベアトリーチェ、『チャールダーシュの女王』シルヴァ、『こうもり』ロザリンデ、『メリー・ウィドー』ハンナなど、数多くのヒロインを務めてきた、ウィーンっ子にはお馴染みのディーヴァである。

■テノール：メルツァード・モンタゼーリ Mehrzad Montazeri, Tenor

テヘラン生まれのオーストリア人。ウィーンのシューベルト音楽院、ウィーン国立音楽大学、ウィーン私立音楽芸術大学で学ぶ。数々のコンクールで入賞を重ね、バイロイト音楽祭で奨学生として研鑽を積んだのち、ヨーロッパを中心に世界各国の劇場や音楽祭、コンサートに出演。レパートリーは、オペラでは『コジ・ファン・トゥッテ』フェランド、『後宮からの誘拐』ペドリロ、『3つのオレンジの恋』トルファルディーノ、『魔笛』タミーノ、『魔弾の射手』マックス、『ラ・ボエーム』ロドルフォ、『蝶々夫人』ピンカートンほか多数。オペレッタでは、『ボッカチオ』ピエトロ王子、『乞食学生』シモン、『ヴェネツィアの一夜』ウルビーノ大公など。メータ指揮『後宮からの誘拐』DVD、メルビッシュ湖上音楽祭での1999年『ヴェネツィアの一夜』CD、2003年『ジュディッタ』CD・DVDの収録に参加。フォルクスオーパーには04/05シーズンにデビューし、翌シーズンから専属歌手を務めている。同楽団との日本での年末年始のコンサートは、今回で7度目の出演となる。

■指揮：ガイド・マンクージ Guido Mancusi, Conductor

イタリア、ナポリ生まれ。ウィーン少年合唱団でソプラノ・ソリストを務めたのち、カペルマイスターとしてアン・デア・ウィーン劇場などで指揮。フィッシャー、ムーティの助手として、ミラノ・スカラ座やバイロイト音楽祭でも研鑽を積む。91年、優れたモーツァルト解釈が評価され、モーツァルト・メダルを授与される。97年～2000年クロスターノイブルク・オペラ・フェスティバルの芸術監督、01年～07年クラゲンフルト市立劇場の首席指揮者、1998年よりシェーンブルン宮殿オーケストラの首席指揮者を務めるなど、ウィーンを中心に国際的に活躍。ウィーン私立音楽芸術大学で教鞭をとりつつ、作曲家としても活動。オラトリオ『母なる大地』はウィーン楽友協会で初演された。フォルクスオーパーとの関係は長きにわたり、『魔笛』『ヘンゼルとグレーテル』『ピノキオ』『マリツァ伯爵家令嬢』『メリー・ウイダー』『チャールダーシュの女王』『こうもり』などを指揮したほか、バレエ公演にも出演している。

■ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団 Symphonie-Orchester der Volksoper Wien

ウィーン・フィルと並び世界最高のウィンナ・ワルツ、ポルカを聴かせてくれるこの楽団は、ウィーンを代表するオペラ、オペレッタハウスとして1898年に創設されたウィーン・フォルクスオーパー（国民劇場）のオーケストラ・メンバーにより結成され、ウィーン市民に長く愛され続けている。

■バレエ・アンサンブル SVO ウィーン Ballett Ensemble SVO Wien

ウィンナ・ワルツの研究と継承、および典型的なウィンナ・ダンスの保護を目的としてウィーン・フォルクスオーパーを母体に結成されたバレエ団。今回も選りすぐりの2組のペアが、サントリーホールの舞台上に登場し、エレガントな宮廷舞踏と、時にコミカルな演出で舞台を盛り上げてくれる。